

(様式2)

## 健やか食育プロジェクト事業報告書

健康福祉事務所名 赤穂健康福祉事務所

### 1 食育推進体制の整備

食育推進課題	<ul style="list-style-type: none"><li>個人、家庭で健康的な食生活を実践するためのツールとして、適切な食品の選択や情報等の入手ができる食環境づくりが必要である。</li><li>地域の食環境づくりを促進するために、食品関連事業者(以下、スーパー等)に消費者への食育の取組みの必要性について理解してもらう必要がある。(中食を提供するスーパーの食の健康協力店登録割合:約48%(7店舗/10店舗中)、食の健康協力店取組み内容の充実等)</li><li>スーパー等による継続的な食育活動の実践に向けて、関係機関・団体による支援・連携体制の確保を図る必要がある。</li></ul>
今年度の推進方策	<ul style="list-style-type: none"><li>若い世代の食育力強化、多様な暮らし方を支援する食育推進</li><li>食育活動を推進するための連携体制の充実強化</li></ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"><li>会議の構成機関・団体間で管内の食育推進課題、コロナ禍における食育活動の取組み状況(ICTの活用等)について情報共有が図れた。(新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため書面開催)</li><li>管内スーパーマーケットの食育に係る実態や課題、ニーズ等を把握することができ、食環境の整備に向けた基盤づくりに繋がった。</li><li>管内スーパーマーケットとの連携により、消費者に向けて適切な食品の選択や情報等が入手できる情報を発信することができた。</li></ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"><li>国、県及び各市町食育推進計画に基づいた重点的な取組みの促進</li><li>関係機関・団体との連携による取組の充実</li></ul>

### 2 会議の開催状況

実施日時	令和3年8月 (新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため書面開催)
参集者 (団体数 及び人 数)	赤相いずみ会、赤相栄養士会、JA兵庫西、赤穂市立学校給食センター、上郡町学校給食センター、相生市(4課)、赤穂市(2課)、上郡町(2課)、各市町教育委員会(4機関)、光都農林振興事務所・光都農業改良普及センター〈団体数・人数〉19機関・団体、19人
協議内容	1) 協議・情報交換 ①各機関・団体における取組み報告(R2)及び取組み計画(R3) ②令和3年度健やか食育プロジェクト実践活動について (関係機関・団体の連携による取組み内容の検討等) (2) 情報提供 ・第4次食育推進基本計画(国)について
今後の方策	<ul style="list-style-type: none"><li>コロナ禍での関係機関・団体における食育の取組み状況や課題等の共有を図り、ポストコロナに向けた食育の効果的な推進方法等について検討していきたい。</li><li>第4次食育推進計画に基づく重点的取組みの共通理解と課題解決に向けた連携体制の充実強化を目指す。</li></ul>

※会議の議事録、参集者名簿を添付すること。

### 3 食育実践活動の結果

テーマ	～食でつながる元気な地域づくり～ スーパーマーケットへの食環境整備に向けたアプローチの促進		
対象及び参加者数	①管内スーパーマーケット 10店舗(店舗責任者 10名) ②管内スーパーマーケットを利用する消費者(人数は未把握)		
事業内容	日時・場所	内 容	講師・運営スタッフ
	〈1回目〉 R3. 7月	〔アンケート①〕(課題、ニーズ等の把握) スーパーマーケットにおける「食育」に対する意識・取組みに関するアンケート調査	管内スーパーマーケット(10店舗) 赤穂健康福祉事務所
	〈2回目〉 R4. 3月	〔アンケート②〕(活用状況の把握等) スーパーマーケットにおける「食育」への意識・取組みに関するアンケート調査	管内スーパーマーケット(10店舗) 赤穂健康福祉事務所
	R3. 10月 (ひょうご食育月間)	消費者用食育普及啓発資料の作成及びスーパーマーケットでの設置① (1)リーフレット(2種類) ①市販の惣菜を上手に活用しよう ②できることから“食育”をはじめよう (2)ポスター(ひょうご食育月間) (3)ポップ(2種類)①中食、②市販弁当	管内スーパーマーケット(10店舗) 赤穂建康福祉事務所
	R4. 12月	消費者用食育普及啓発資料の作成及びスーパーマーケットでの設置② (1)リーフレット(1種類) (2)旬の野菜メニューのレシピ(4種類)	管内スーパーマーケット(10店舗) 赤穂建康福祉事務所
	R4. 3月	消費者用食育普及啓発資料の作成及びスーパーマーケットでの設置③ (1)野菜を使った 超!かんたん“副菜”レシピ(4種類)	管内スーパーマーケット(10店舗) 赤穂建康福祉事務所
成果	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>管内スーパーの「食育」に対する意識や取組みの現状、課題等の実態から、食環境整備を促進していくための店舗のニーズやアプローチ方法等を把握することができた。</li> <li>アンケートを通じて、食育の取組み状況等を店舗間で共有することができ、スーパーでの食育の必要性等について意識を高めることに繋がった。</li> <li>消費者の健康に配慮した取組みとして、中食の上手な活用方法や主食・主菜・副菜の組み合わせ等、具体的な実践例を店舗に提案することができた。</li> <li>店舗での食育活動を通じて、消費者に適正な食生活の実践方法等を啓発することができた。</li> <li>食の健康協力店の登録店舗数の増加に繋がった。</li> </ul> <p><b>【評価指標と目標値及び達成状況】</b></p> <p>①食の健康協力店の店舗数の増加 7施設 → 10施設(10施設中)</p> <p>②店舗での「食育」の取組みの必要性 「必要性を感じている」〔1回目〕100%(10/10施設)→〔2回目〕100%(7/7施設)</p> <p>③店舗での「食育」の実施状況 「実施している」〔1回目〕40%(4施設/10施設) →86%(6施設/7施設) 「今回の取組みを通じて実施したい」 〔2回目〕71%(5施設/7施設) ※第1回アンケート時から2施設増加 「内容により検討する」14%(1施設/7施設)</p> <p>④「食育」の取組みを支援してくれる機関・団体(栄養士会等)の活用 〔2回目〕「活用したい」29%(2施設)、「わからない」57%(4施設)、 その他(「内容により検討する」)14%(1施設)</p>		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>スーパー等での食環境整備を促進するための連携体制の確保</li> <li>食育を「実践」する人の割合を増加するための食環境整備</li> <li>ポストコロナを踏まえたデジタル化に対応した食育の推進</li> </ul>		

# ～食でつながる元気な地域づくり～

令和3年度 健やか食育プロジェクト事業



## 健やか食育推進会議

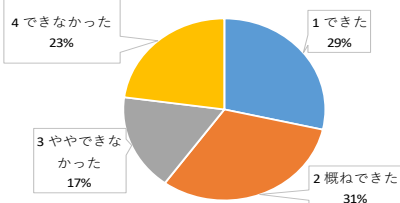
構成：20 機関・団体（赤穂健康福祉事務所 含む）

内容：\* 関係機関・団体における R2年度取組み報告及び、R3年度取組み計画について  
\* 令和3年度健やか食育プロジェクト事業実践活動について  
\* 第4次食育推進基本計画(国)の情報提供 等

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から書面により  
各関係機関・団体の取組み状況や課題の情報共有を図りました！

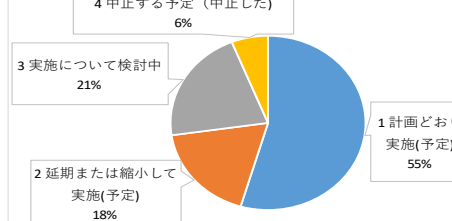
### 赤穂健康福祉事務所管内関係機関・団体等における 「食育」「食の安全安心」に関する取組み状況

令和2年度の取組み結果について(目標達成度)



新型コロナウイルス感染症の影響により、R2年度の関係機関・団体による事業(35事業)中、計画どおり実施出来なかった取組みは、約40%(14事業)もありました。

令和3年度の取組み計画について(実施状況)



コロナ禍の中、「取組みを中止(予定含む)」した事業は約6%(2事業/33事業中)。「実施について検討(延期、縮小含む)」している事業は39%(13施設)となっている。

新型コロナウイルス感染症の影響がある中  
ポストコロナに向けた  
食育のデジタル化も進んでいます！

### 「新たな日常」に向けた SNS・ICTを活用した食育の取組みの計画事例を紹介！

- ・ Instagram で給食写真をアップして情報発信
- ・ 給食時間に電子黒板で視聴することができる動画教材の作成
- ・ 栄養教諭による講話を録画して、授業で活用 など

## 食育実践活動



### ～食でつながる元気な地域づくり～ スーパーマーケットへの食環境整備に向けたアプローチの促進

〈ねらい〉

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う食生活の変化(家庭で食事をする機会の増加、テイクアウト等の増加)を踏まえた、スーパーマーケットへの食環境整備へのアプローチ

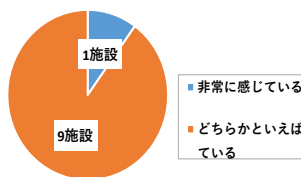
## 〈実践内容〉

- ①スーパーマーケットにおける「食育」に対する意識・取組みに関するアンケートの実施
- ②食環境整備の促進に向けた、スーパーマーケットでの実践活動(消費者に向けた食育普及啓発用資料等の設置協力)
- ③消費者への適正な食生活の実践・改善に対する普及啓発の実施

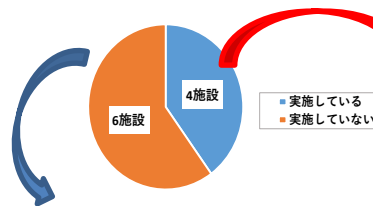
## 〈実践報告〉

- ①スーパーマーケットにおける「食育」に対する意識・取組みに関するアンケート調査結果より  
 \*アンケート回収率 91%(10店舗/11店舗中)

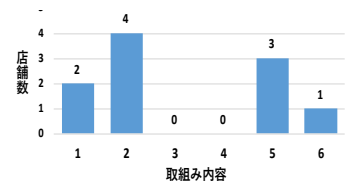
貴店舗での「食育」の取組みの必要性



店舗での「食育」の実施状況



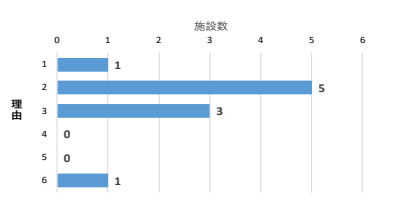
店舗での「食育」の取組み内容



### 〈取組みを行っていない理由〉

- 1 どのような取組みをすればよいのかわからない
- 2 取組む時間や人手が確保できない
- 3 取組むためのコストが確保できない
- 4 取組みは必要ないと思うから
- 5 関心がないから
- 6 その他

### 「食育」の取組みを行っていない理由



### 〈取組み内容〉

- 1 健康や栄養、食品についての情報や知識の提供
- 2 料理レシピの提供や料理の展示等
- 3 店頭での調理実演
- 4 食育イベント、食育体験教室の開催
- 5 健康に配慮した中食(惣菜や弁当)の提供

- ◎事業終了時のアンケートより \*アンケート回収率 70%(7店舗/10店舗中)

\*「今回の取組みを通じて、今後も食育の取組みを実施したい」 71%(5施設/7施設中)

- (取組み可能な内容) ・「食育についての情報提供(ポップ、チラシ等)」: 5施設  
 ・「料理レシピの提供」: 5施設 ・「健康に配慮した中食(惣菜・弁当等)の提供」: 1施設

\*スーパーでの「食育」の取組みを支援してくれる機関・団体(栄養士会等)の活用

「活用したい」: 29%(2施設)、「わからない」: 57%(4施設)、内容により検討: 14%(1施設)

## スーパーマーケットでの実践活動(消費者に向けた食育普及啓発用資料等の設置協力)

POP

お弁当も主食・主菜・副菜  
で健康習慣

店舗での設置風景

管内のスーパーマーケットの「食の健康協力店」登録店舗数が、**7施設→10施設に増加**全店舗が登録となりました！  
 今後は、取組み内容の充実が課題です。

### 〔今後の課題〕

- ・スーパー等での食環境整備を促進するための連携体制の確保
- ・食育を「実践」する人の割合を増加するための食環境整備
- ・ポストコロナを踏まえたデジタル化に対応した食育の推進

R3年10月  
ひょうご食育月間

リーフレット・レシピで中食の上手な活用方法を普及啓発

R3年12月・3月